

## 第12回 災害外傷研修 開催要綱

### 1. はじめに

これまで日本赤十字社（以下、日赤）は、診療所 ERU（旧：基礎保健 ERU）の活動を中心として、国際赤十字・赤新月社連盟が運営する病院 ERU や、赤十字国際委員会が運営する戦傷外科病院への要員派遣を行ってきた。加えて、日赤は近年の災害支援の需要の高まりに鑑みて、令和3年度に病院 ERU の整備（WHO-EMT のタイプ 2）を完了した。そのため、これまで以上に災害外傷患者受け入れ時の具体的なイメージと知識、技術を有する国際救援・開発協力要員の増員が必要である。

そこで、本研修では災害時に遭遇する主な外科系疾患について、外傷治療・看護の講義と演習を交えて学びを深めていく。

### 2. 研修の目的

- ・ 災害時に必要な外科系疾患の理解を深める。
- ・ 災害時に必要な外科治療・看護の知識と技術を習得する。
- ・ 病院 ERU 導入に向けて参加者のチームワークの向上と交流を深める。

### 3. 日時 令和4年9月23日(金祝)11時30分～9月24日(土)15時00分

### 4. 場所 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 日赤愛知災害管理センター棟

### 5. 使用言語 日本語と英語

### 6. 参加者要件（20～30名程度）※応募状況により書類選考いたします。

- 1) IMPACT（又はBTC）または ERU 研修を修了し、国際救援・開発協力要員に登録されている者  
または
- 2) 国際救援・開発協力要員登録は済んでいないが、今後登録を目指し災害外傷医療に関心のある者  
※職種は医師、看護師、助産師、理学療法士とし、以前に受講したことのある方も受講可能です。  
※病院 ERU 資機材の滅菌器を実際に作動させますので、特に手術室看護師は重複参加を勧めます。

### 7. 講師

白子 隆志 飯田市立病院 診療技監 兼 外科副部長  
中出 雅治 大阪赤十字病院 国際医療救援部長  
岡村 直樹 熊本赤十字病院 国際医療救援部長  
(ほか調整中)

※インストラクター・演習アシスタント 日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院スタッフほか

### 8. 研修プログラム

別紙プログラム参照

### 9. 参考教材

- 1) ICRC Surgery for Victims of War  
[https://www.icrc.org/en/doc/assets/files/other/icrc\\_002\\_0446.pdf](https://www.icrc.org/en/doc/assets/files/other/icrc_002_0446.pdf)
- 2) ICRC Hospitals for War-wounded  
[https://www.icrc.org/en/doc/assets/files/other/icrc\\_002\\_0714.pdf](https://www.icrc.org/en/doc/assets/files/other/icrc_002_0714.pdf)
- 3) War wounds with fractures-A guide to surgical management  
[https://www.icrc.org/en/doc/assets/files/other/icrc\\_002\\_0623.pdf](https://www.icrc.org/en/doc/assets/files/other/icrc_002_0623.pdf)
- 4) Surgery in Africa  
[https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/pdf/surgery\\_in\\_africa.pdf](https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/pdf/surgery_in_africa.pdf)
- 5) War Surgery Volume1.2  
[https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/pdf/warsurgery\\_vol1.pdf](https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/pdf/warsurgery_vol1.pdf)  
[https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/pdf/warsurgery\\_vol2.pdf](https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/pdf/warsurgery_vol2.pdf)

## 10. その他

- 1) 参加の可否については、8月中旬頃に通知させていただきます。  
尚、今後の新型コロナ感染状況を踏まえ、必要に応じて開催の可否を判断する予定です。
- 2) 参加者には事前に健康チェック表を提出してもらい、研修中はマスクの着用、手指消毒の徹底などの感染対策、体温測定など体調管理表の記入にご協力をお願いします。
- 3) 研修は9月23日（金）11時30分から開始いたします。昼食は各自で済ませた後集合して下さい。
- 4) 実技演習がありますので、軽装でお越し下さい。  
※ギブス実習は各自患者役となります。石膏で汚れてもよいTシャツやジャージ等を持参下さい。
- 5) 講義は、9.で提示した参考教材をもとに行われます。  
原則、配布資料はございません。筆記用具などは各自でご準備下さい。
- 6) 宿泊は各自で手配をお願いいたします。
- 7) 昼食（24日分）はお弁当をご用意いたします。受付時にお支払いをお願いします。  
昼食代・お茶含む 1,000円（参加者自己負担）
- 8) 研修参加に必要な参加費及び旅費等は、日本赤十字社支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となるため、追って申請・充当すること。それ以外の参加者は所属先にてご負担願います。

研修参加希望の方は、**令和4年7月29日（金）までに（必着）**別紙を記載の上、下記申込先：日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院国際医療救援部宛て<kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp>、電子メールでお申し込み下さい。

※ご質問は随時承りますので、お気軽にご連絡下さい。

### 【申込み／問合せ先】

日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院  
国際医療救援部  
E-mail : kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp  
電話番号 : 052-832-5467（直通）